

あきたけ



秋竹小学校 学校だより
令和7年6月13日号

運動会

新年度がスタートして、実質1か月余りで迎えた運動会。入学したばかりの一年生を迎え、伝統あるなかま班での縦割り競技を中心に据え、子どもたちと教職員が一体となって練習と準備に励んできました。そして、5月23日（金）の運動会を開催することができました。当日は、たくさんの保護者の皆様、地域の方々のご声援をいただき、子どもたちは練習の成果を発揮してくれました。真剣な顔と笑顔、一人一人の力の発揮と仲間の力の結集。一生懸命で、生き生きとしていて、楽しそうで。どの子も輝いていました。力を出し切った時に、また新たな力が生まれます。

子どもたちを励まし、支え、見守っていただいた、保護者の皆様・地域の皆様に厚く感謝申し上げます。また、当日までのグラウンドの草取り、運動会後のテント等の片づけに、たくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



プール清掃

今年も水泳の季節がやってきました。プール開きに向けて、6月5日（木）午前中に5・6年生の子どもたちが、きれいに掃除をしてくれました。また、夕方からはボランティアの保護者の方がさらにきれいになるようにと掃除をしてくださいました。在校生の子どもたちも、一緒に一生懸命に手伝ってくれました。来週から、水泳が始まります。全校の子どもたちが、安全に笑顔で気持ちよく泳ぎ、昨年より泳力を伸ばそうと頑張る姿が見られるのがとても楽しみです。



「わかる」「できる」算数の授業をめざして

今年度も、「自分大好き」「なかま大好き」「学校大好き」のスローガンのもと、教育活動を進めています。学校を大好きになるためには、やはり「授業が楽しい。勉強がわかる、できる」ようになるとよいと思っています。そこで、現在、1年生から5年生では算数の授業において、ティームティーチング（一斉授業において、2人以上の教職員が協力して行う授業）を実施しています。6年生については、習熟度別指導（学習内容の理解の度合いに応じて、1つの学級を2つに分けて行う授業）も実施しています。どちらも、一人一人を大事にしたよりきめ細やかな指導を行えるようにしています。

子どもたちが授業の中で、今以上に、目を輝かせながら意欲的に学ぶ姿をたくさん見せてくれるよう力を尽くしていきます。

「レジリエンス」を高める

多様化し複雑なこれからの社会を生きていくためには、「レジリエンス（何か問題が起きた時にも、再びしなやかに立ち上がろうとする力）」が大切です。子どもたちには、挑戦、失敗を繰り返しながら、自分の壁を一つずつ乗り越えたり、他者と折り合いをつけたりしながら成長していったほしいと思います。そのためには、一人一人の子どもの実態に応じて、ちょっと背伸びすると届くような目標を立てて挑戦させたり、一人では難しいことには周りの人の力を借りればうまくいくという体験を積めるようにしたりしていきたいと思います。自分だけで頑張るということではなく、頼れる人、相談できる人をつくることも、レジリエンスを高めることにつながります。子どもたちが、挑戦する気持ちを忘れず取り組み、笑顔の花を咲かせられるように見守り支えていきたいと思います。